

シモツケの育て方

シモツケは暑さや寒さに強い、丈夫で育てやすいバラ科の落葉低木です。

原産地は朝鮮半島、中国。日本の栃木県下野で発見されたことが名前の由来です。

樹高は 0.5～1m になります。株は分枝が多くこんもり育ちます。やや大きくなるので地植えに向いていますが、寄せ植えにも使えます。開花は 5 月～8 月です。

■植付けと管理

配布苗はなるべく早く植え付けてください。

地植えする場合は、乾燥しない日あたりの良い場所を選びます。

根鉢より一回り大きな穴を掘って腐葉土や堆肥を混ぜて植えつけます。その後、水をたっぷりと与えてください。

鉢植えの場合は、水はけと水もちの良い土が適しているため、市販の花木用培養土か赤玉土と腐葉土を混合した用土を使用します。根鉢より 1～2 回り大きい鉢に植え込んでください。

鉢で育てる場合は水切れに注意します。

■肥料

地植えの場合、特に肥料は必要ありません。鉢植えの場合は 1～3 月に緩効性肥料を与えます。

■剪定

樹形を整えるために行います。

春に伸びた枝に花芽をつける新枝咲きの低木です。枝が込み合ってくると風通し悪くなり花付きが低下します。古くなった枝が目立つ場合には、株元近くから数本を間引く方法も効果的です。シモツケは自然にこんもりした樹形に育つため、剪定を頻繁に行う必要がありません。

【花後の剪定】咲き終わった 9 月ごろから行うのがお勧めです。花がらを取り除き、伸びすぎや込み合った枝を整理します。

【冬剪定】落葉する休眠期の 12 月頃から、新芽が出る前の 3 月頃までに古い枝を間引く更新剪定を行うと、若い枝が育ち花付きも良くなります。

■病気・害虫

病気に強いので、ほとんど心配ありませんが、風通しが悪いと“うどんこ病”が発生したり、アブラムシが付くことがあります。シモツケマルハバチの幼虫が繁殖することがあるので注意が必要です。